

令和2年度大豆作況試験生育状況（7月25日付け調査結果）

[生育概況]

7月上旬は気温が平年より高かったが、中旬は低温となった。7月以降は多雨・寡照となった(表1)。

標播では、6月下旬～7月上旬が高温傾向で寡照となったため、主茎長は平年を上回り、主茎節数は平年並となったが、分枝の発生はやや少なく、総節数も平年をやや下回った(表2)。

開花期は、タンレイで平年より2日早く、タチナガハで平年より1日、ミヤギシロメで2日遅くなった(表2)。

晩播では、主茎長はやや長くなったが主茎節数は平年を下回った(表2)。分枝の発生はまだない。

表1 旬別の気象経過（アメダス古川）

項目	月・旬	5月		6月		7月	
		下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
平均気温	本年値(°C)	16.8	20.9	21.5	19.7	21.5	19.8
	平年差(°C)	+0.8	+3.3	+2.9	+0.3	+1.0	-2.0
積算日照時間	本年値(h)	74.9	95.1	63.7	24.1	14.0	9.2
	平年比(%)	108	160	128	61	37	26
積算降水量	本年値(mm)	18.0	0.5	16.0	23.5	147.5	113.0
	平年比(%)	49	2	38	41	252	189

表2 7月25日付け調査結果

播種期	品種名		開花期 (月/日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	総節数 (節/本)
標播 5/26	タンレイ	本年値	7/23	71	14.2	2.8	29
		前年差	7日早	+7	+0.5	+0.4	+2
		平年差	2日早	+3	-0.2	-0.2	-2
	タチナガハ	本年値	7/26	73	14.7	2.1	26
		前年差	4日早	+15	+1.7	-0.2	+4
		平年差	1日遅	+11	+0.5	-0.9	-3
ミヤギシロメ	本年値	8/3	77	14.2	2.8	27	
	前年差	同日	+11	+1.4	+0.2	+3	
	平年差	2日遅	+6	-0.2	-0.1	-3	
晩播 7/3	タンレイ	本年値	—	19	3.9	0.0	4
		前年差	—	+1	-0.8	0.0	-0.8
		平年差	—	+2	-0.7	0.0	-0.7

注1) 平年差はH29を除く過去5か年の平均値との差

2) 栽植密度の設定は、標播が条間75cm・株間20cm、晩播が条間75cm・株間10cmとした（1株2粒播種）

3) 開花期については8月4日まで継続して調査した

令和2年度大豆生育調査ほ生育状況（7月25日付け調査結果）

表3 7月25日付け調査結果

標・晩	品種名	普及 センター	栽植密度 (本/m ²)	播種期(月/日)			主茎長(cm)			主茎節数(節/本)			分枝数(本/本)		
				本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
標播	タンレイ	仙台	16.9	5/30	3日早	-	79	+41	-	13.8	+4.1	-	1.6	+0.2	-
		栗原	13.2	6/3	-	-	72	-	-	13.4	-	-	1.3	-	-
	タチナガハ	登米	11.9	6/8	5日早	2日早	37	+5	+7	9.8	+1.0	+0.2	0.1	-1.1	-1.2
		大河原	9.7	6/23	16日早	同日	18	+9	-8	6.0	+2.5	-1.7	0.0	+0.0	-0.4
	ミヤギ シロメ	仙台	9.2	6/2	3日早	-	70	+46	-	13.6	+6.3	-	2.6	+2.6	-
		栗原	13.8	6/2	4日早	2日早	38	+4	-1	8.7	-0.1	-2.6	0.3	-0.5	-0.3
		登米	15.5	6/7	3日早	8日早	33	+11	+7	9.2	+3.4	+1.3	0.0	±0.0	-0.5
石巻		10.3	6/5	34日早	13日早	41	+29	+11	9.3	+7.0	+1.2	1.0	+1.0	-0.0	
晩播	タンレイ	石巻	16.4	6/13	4日早	2日早	41	+16	+11	8.8	+1.9	+0.6	1.5	+1.5	+0.8
	あやこがね	大河原	11.4	6/18	8日早	1日早	13	-1	-9	5.2	-0.7	-2.6	0.1	+0.1	+0.0

注1) 平年差はH29を除いた過去5か年の平均値との差を示す

2) 仙台の「タンレイ」と「ミヤギシロメ」の平年値および栗原の「タンレイ」の前年値と平年値は調査ほの変更等のためない